

様式第7号

事業実施報告書

平成29年4月3日

市川市長

提案者名 市川災害ボランティア
ネットワーク
所在地 市川市新田3-22-11-402
電 話 047(370)5833

平成28年6月24日付け市川第20160622-0086号をもって決定のあった市川市協働事業提案に係る事業実績報告について、下記により提出します。

記

1. 協働事業の名称 市民を対象とした意識啓発・高揚のための研修会の開催及び実践授業への参加
 2. 協働事業の概要 市民に対しての意識啓発・高揚のための研修会を開催し、地域での活動に役立てて頂くとともに、研修会並びに実践授業への参加を企画する。
3. 添付書類
- (1) 事業報告書（様式第8号）
 - (2) その他市長が必要と認める書類

市川市協働事業報告書

事業の名称	市民を対象とした意識啓発・高揚のための研修会の開催及び実践授業への参加
事業の実施内容	8月27日・28日に市川市総合防災訓練の一環として大洲防災公園にて避難所体験訓練を実施。 平成29年1月に予定していた講習会の時期を平成28年7月に変更し、会員を対象とした災害ボランティアセンター運営についての講習会を実施した。 3月23日に防災バス研修を実施、東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」にて体験学習会を行った。
事業実施の効果並びに市と協働したことによる効果	7月の防災講習会は、19名の会員とともに災害発生から災害ボランティアセンター立上げ、運営までの流れを講義、ワークショップを通して共有できた。 8月の市民向け避難所体験訓練は、24名の参加者に対して、より実践的な体験と被災時のイメージング研修を通じた防災意識啓発ができた。 3月の防災バス研修は、48名の参加者とともに、東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」を見学した。タブレット端末を使いクイズに答えながら、首都直下地震の発災から避難までを参加者自身で体験し、学習する事でより防災意識啓発へ大きな効果が得られた。 いずれも、市との協働により備品の確保、参加する市民への広報等、安定して事業を実施することができた。
その他の成果や今後の課題等	参加者は誰もが意識が高く、活発な研修会を実施することができた。しかしながら、避難所体験訓練や防災バス研修は共にここ数年継続している事業であるので、研修内容の見直しや運営側の会員の掘り起こしが課題となる。
事業実施期間	平成28年4月～平成29年3月
事業実施場所	市本庁舎 委員会室 大洲防災公園 東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」 他
主な対象者	市川市民